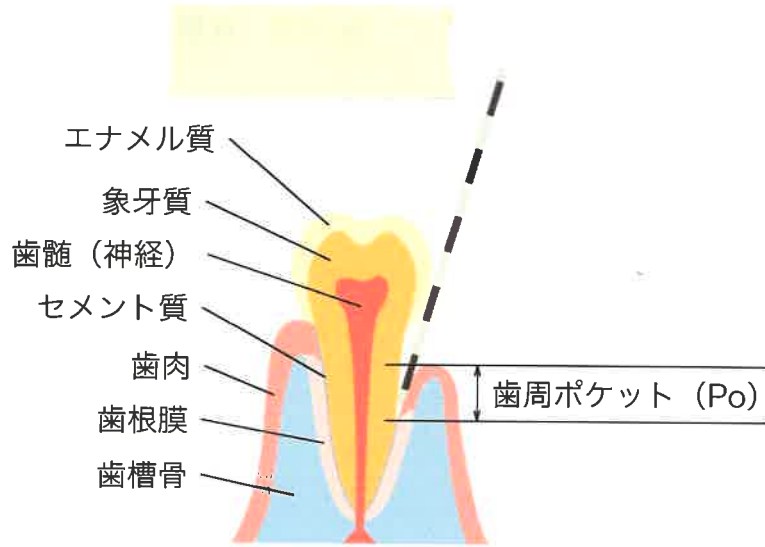


診断書説明

No. 8036



	C0	歯の表面にムシ歯の初期症状が見られます		In ア充	金属の詰めもので治療されています
	C1	歯の表面のエナメル質に穴があいた状態で、まだ痛みのないムシ歯です		CR充	プラスチックの詰めもので治療されています
	C2	エナメル質の下の象牙質にまで及んでいる、進行したムシ歯です		In 白 In G	美しさや耐久性、適合性に優れた詰めもので治療されています
	C3	歯髄 (神経) にまで及んでいる、かなり進行したムシ歯です		FCK 前装冠 JK	金属の冠を被せて治療されています
	残根	ムシ歯が進行し、歯の上部が崩壊して歯の根っだけが残った状態です		MB 冠 白 冠 G	美しさや耐久性、適合性に優れた被せもので治療されています
	二次C 再治	一度治療してある歯に異常が見られる場合に表示されるマークです		PO	取り外しのできない入れ歯 (ブリッジ) の歯のない部分を表します
	シーラント (FS)	歯の溝に、ムシ歯になりにくくするための予防処置が施されています		義歯	取り外しできる入れ歯を表します
	コア	冠をかぶせる前に歯の中に入れる、土台の状態です		Imp	インプラントを表します

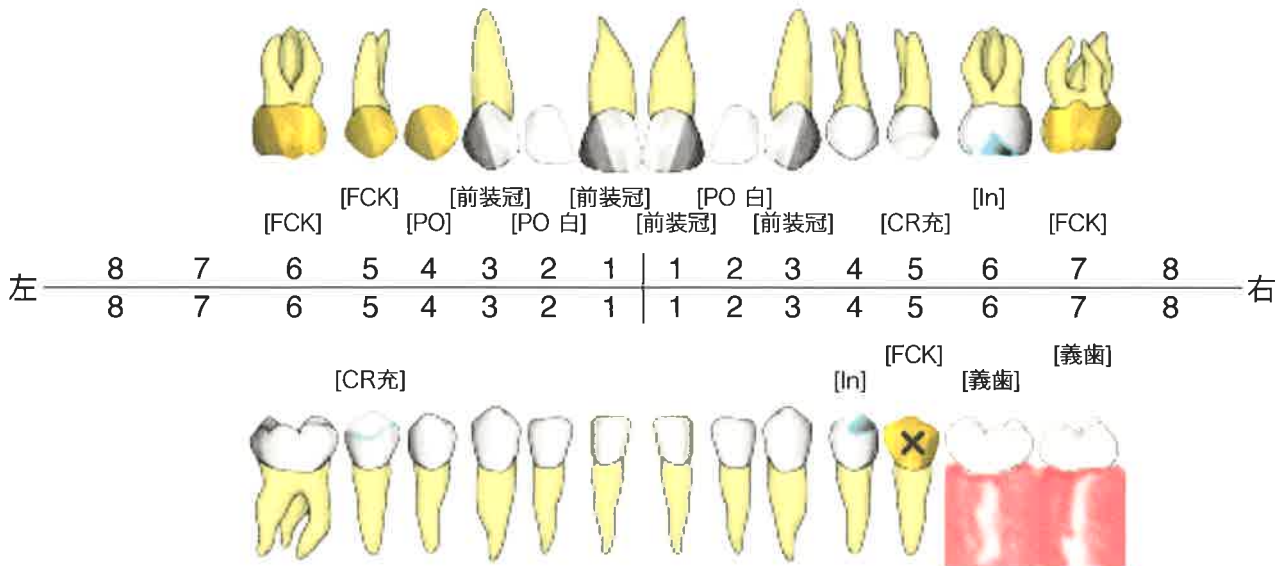
野村歯科医院

〒323-0826 栃木県小山市雨ヶ谷483-1
TEL 0285-28-3456

ムシ歯診断書

No. 8036

検査日 2017.05.08 術前



- CO：COは、放っておくとムシ歯になってしまう可能性があります。ムシ歯にならないよう予防しましょう。
- C1：歯の表面のエナメル質に及んだ状態で、痛みは余り無く治療も極簡単です。
- C2：エナメル質よりも柔らかい象牙質にまで及んだ状態で、冷たいものがしみる等の自覚症状がでできます。治療がやや複雑になり、麻酔を必要とすることもあります。
- C3：すでに神経にまで及んでいるため、痛みのため寝付かれないこともあります。炎症を起こしている神経を取り除く治療が必要です。
- C4：C3が悪化した状態で、残根と表示しています。歯の表面はもとより内部の神経も破壊されており、元に戻すことはほぼ不可能なため、歯を抜くことが必要です。

あなたの歯の状態が絵で表示されています。

×印がついた歯は、一度治し終えた歯にまたムシ歯ができています。また、治さなくてはなりません。

奥歯に1本ムシ歯があります。

早く治療しましょう。

欠損は歯が抜けてしまった状態です。このまま放っておくと、歯はしだいに歯のない方向へ移動してしまい、バランスをくずしてしまいます。

歯の部分からピンクで塗られている部分は、取り外しの入れ歯をいれたことを表しています。入れ歯をいれて痛みやその他の異常を感じたら、入れ歯をはずしたままにしておかないで、調整等にすぐ来院しましょう。入れ歯の手入れが悪かったり、入れ歯があわないまま使用していると、他の歯や歯肉、また、顎までが悪くなる場合があります。

取り外しの入れ歯は、体の一部です。大切に扱って下さい。

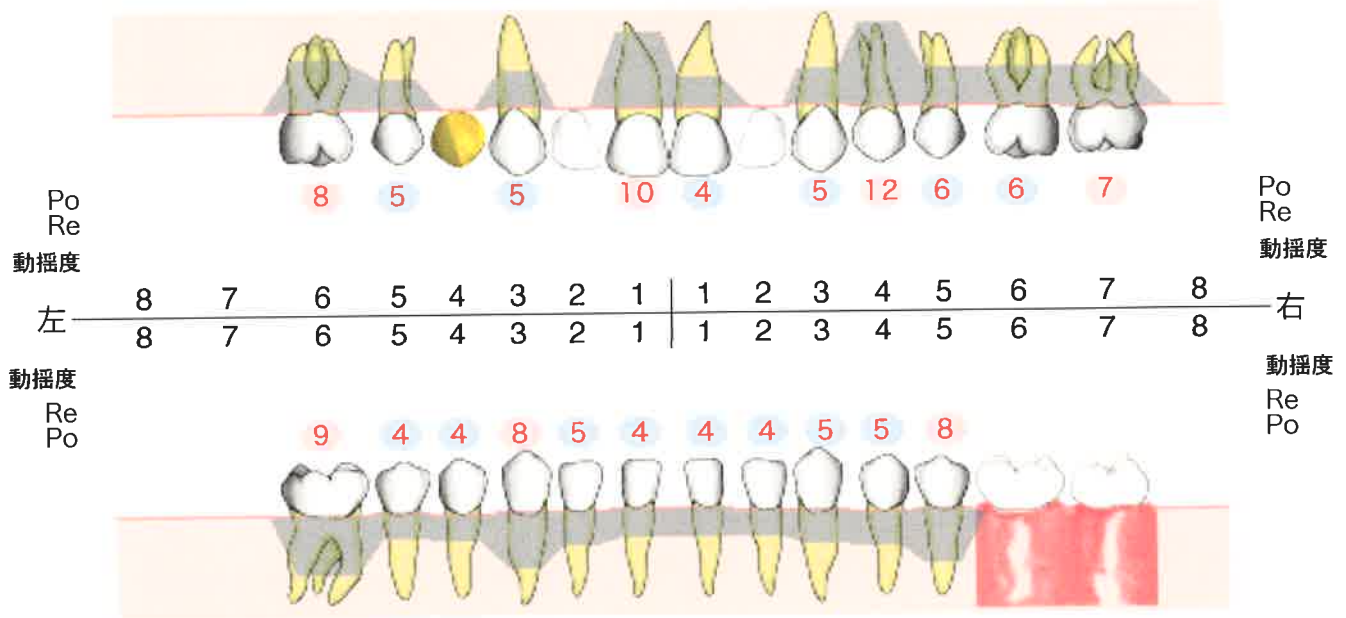
野村歯科医院

〒323-0826 栃木県小山市雨ヶ谷483-1
TEL 0285-28-3456

歯周診断書

No. 8036

検査日 2017.05.08 術前



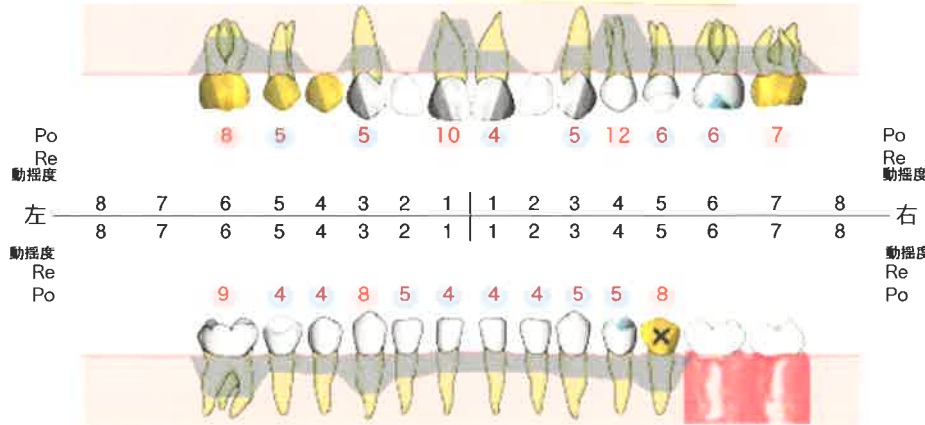
ポケット深さ(Po) ~3mm 4~6mm 7mm~
 歯のぐらつき → 前後 ↔ 前後・左右 ↕ 前後・左右・上下

表示されている数値は、あなたの歯と歯ぐきの間にあるポケットの深さです。数値が前回よりも改善されている場合は青色、悪化している場合は赤色、同じ場合は黒色で表します。ポケットは灰色で表現されています。
 ポケットのかなり深い部分が見られます。歯をささえる骨があまりない状態です。この状態のままでは非常に危険で、完治は難しくなります。他の部分がこのようにならないよう、早く治療しましょう。
 原因となる磨き残しや歯石を取り除き、歯の面や、根のまわりをきれいにしましょう。

歯と口の治療管理

No. 8036

2017.05.08



ポケットの深さ(Po)の値は、前回より悪化していれば赤色・改善していれば青色で表示
 Po4mm以上 100.0% (10.3%) / Po平均値 6.1mm (3.0mm) / 出血率 0.0% (0.0%)

治療予定	部位
ムシ歯治療 (歯につめる)	
ムシ歯治療 (歯にかぶせる)	
根の治療	
歯ぐきの治療 (歯周病)	
歯を抜く	

口腔内の清掃状態と歯磨きのポイント

あなたの歯の磨き残しをチェックしました。磨き残しはありますが、良く磨けています。歯と歯の間などは、汚れの落ちにくいところがあります。この汚れを落とすためには歯ブラシの毛先を使って動かすことです。補助的な道具の使い方をマスターするとよいでしょう。

生活習慣の改善に合わせて、次のことに気を付けてください

現在あなたのお口の中は、全体的にかなり良い状態です。これからは長くこの状態が保てるよう、定期的に歯の検診とケアをおこないます。決められた時期には必ずご来院下さい。

※前回より改善されていれば青色、治療が必要な部位は赤色で表示

野村歯科医院
 〒323-0826 栃木県小山市雨ヶ谷483-1
 TEL 0285-28-3456

ご質問がありましたら、いつでもお申し出下さい。